

平成30年度富谷市立日吉台小学校 学校関係者評価書

平成31年 2月21日

学校関係者評価委員会

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

○「支持的風土を持った学級集団を作り、協同的な学びを推進する」

- ・ 昨年度から継続して取り組んでいただいております。今年度はさらに校内研究にて「自ら考え、ききあい、高め合うことのできる児童の育成」を主題とし、積極的に、かつ学年やクラス像に応じたきめ細やかな取組がなされています。また校内研究のテーマとすることで、全教職員が同じ目的の中で、互いの授業を見合い、学び合う取組にも大変感心いたしました。このような先生方の取り組む姿を見て、子どもたちも、自分たちもお互いを認めて、教え合い、お互いがんばろうという意識が目覚めていったのだと思います。
- ・ 子どもたちによる学び合いの中で、理解が難しい場合や学びきれない子どもたちへの対応など懸念されましたが、学級全体の確認や考え方の多様性への対応、さらには高学年でのTTや少人数による授業・教科担任制など個々に応じた取り組みも十分になされており、安心しました。
- ・ 保護者の方へ「学びあえる授業」の主旨をしっかりと伝え、理解していただくことが大切になってきます。指導方法の工夫の大切さ、学力アップなど問題点もありますが、子どもたちがお互いを認め合うことができるようになったことは、大きな成長です。
- ・ 「学びあえる授業」に数年かけて力を入れてきたものが成果と結び付いた一年です。先生方の御苦勞もあつたと思いますが、成功の喜びを実感することができたと思います。
- ・ クラスごとに机の配置を工夫して（コの字、両隣と机を付ける等）お互いに学びあう姿勢が、より強くなったと思います。
- ・ 挨拶がしっかりできていて、心の教育の充実が見られます。また、校内のお屋の清掃が全クラス徹底されていて、協力し合う心も養われています。
- ・ 校内長縄大会の実施等で、運動を楽しみながら達成感を持たせることができています。

(2) 成果について

- ・ 子どもたちによる学び合いがどのような結果をもたらすか、年度当初は不安な気持ちもありましたが、それが「学力向上」という目で見てわかる成果がもたらされました。また授業の様子を参観させていただく中で、子どもたちが目を輝かせてお互いに教え合い、相手の話を正面から聞き入れ、積極的に学ぶ姿に、学力向上以上に、自己肯定感や他者を受け入れ聞く力、考える力や互いに思いやる心が育っていると感じました。また教職員を対象とした自己評価も前年度より高くなっており、子どもたちと共に、失礼ながら先生方の日々の努力と成長を感じる結果となり驚きました。
- ・ 授業参観で感じたことは、学習する態度が落ち着いていて、よく話を聞いているとい

うことです。テストの結果も思考を伴う問題が右肩上がり、日頃の粘り強く学習に取り組む姿勢の成果が出ていると思います。「ひよっこの学び合いコーナー」が子どもたちを大きく成長させた要因と思われます。大変すばらしいです。

- ・ 子どもが変わることで職員にも変化があった一年だと思えます。子ども同士がお互いの考えをききあう中で、学びの力が広がったり深まったりする授業はすばらしいと感じました。自分の思いや考え、互いの良さを認め合える学級を作るため試行錯誤をされてきた校長先生、職員の努力が成果として表れたと思えます。
- ・ 人間関係を築くには、「学びあえる授業」を十分に生かしていくことで、自然に生まれていくものです。今後も持続させていくことで、子どもたちの成長にもプラスになっていくでしょう。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・ 保護者アンケートにて、「基礎的・基本的な学習定着のための指導の工夫や個々の対応」や「子どもたちの実態に応じた事業の工夫」の評価が低いのが気になりました。学校全体ですばらしい取組と成果を挙げているので、ぜひ学び合いの成果など、機会を捉えて保護者の皆様へお伝えいただければと思います。
- ・ 子ども一人一人に応じた指導を行っていくには、学校と保護者とが連携し、家庭内での教育を促しながら、教職員と現状を共有しながら指導方法を導き出してほしいです。
- ・ 読書習慣やルルブルなど、本来家庭で力を入れるべき項目についての啓発が必要だと考えます。
- ・ 「早寝 早起き 朝ご飯」の生活習慣は、もっと家庭で指導すべき点を学校から保護者へお願いしてはどうでしょうか。
- ・ 外部研修には、積極的に参加し、教育の現場で生かしてほしいです。
- ・ 学校と家庭と地域の連携について、保護者の方の中にはあまり重要視していない傾向にありますが、学校の取組も含め、子どもたちは地域に守られ地域の中で育っていることを自覚していただけるような取組を期待します。
- ・ 地域との関わりは、ふれあう場を大切にしていきたいので継続をお願いします。

2 各領域等の評価

○ 評価は、A（良く達成されている）B（おおよそ達成されている）C（不十分である）D（大いに改善が必要である）の4段階でお付けください。

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度課題でホームページでの保護者や地域への発信を提案させていただきましたが、今年度より学校便りも見られるようになり、迅速に対応していただきました。 ・ お便り等により学校教育目標や指導方針、子どもたちの様子を適切に伝えています。 ・ 学校行事が保護者や町内会にも周知され、関心度も高いです。 ・ 学校だよりや学校開放行事などに積極的に取り組まれています。保護者の学校行事

			<p>に対する関心度は高く、参加率もすばらしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事や授業参観日だけでなく、いつでも学校に来て良いことを積極的に呼びかけており、気軽に来校できる雰囲気があります。
	2 魅力ある学校	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの自主性を尊重した授業や取組により、子どもたちは学校生活の楽しさや互いに学ぶ喜びを実感していると感じています。また仲間を大切に思う心も育まれており、自分の居場所として、来たくなる学校を今後も目指していただきたいと思います。 ・ 子どもたちの能力を引き出していくことが自然にできるクラスの体制が整っており子どもたち同士で工夫をしながら取り組んでいく姿勢は、持続させてください。 ・ 教育課程の実施を的確に行い、教職員全員で取り組んでいる姿勢を強く感じます。
	3 施設・設備	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に安全点検や目配りをさせていただいており、遊具なども富谷市と連携しながら迅速に修繕いただいています。 ・ トイレも整備され、7月からはエアコンが導入になります。暑さ対策はかなり解決され、環境もよくなると思います。 ・ 教材教具の購入の際には、納品時期等を考慮し、計画的に進めてほしいです。
	4 安全管理	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を巻き込んだ引き渡し訓練や防災訓練が実施されています。震災の経験を忘れずに、実際の場面を想定した体制作りをお願いします。交通安全指導にも引き続き力を入れていただきたいと思います。 ・ 防災マニュアルの整備、緊急時の対応マニュアル等が整備され、全職員に理解され対応できる体制になっています。 ・ 災害時における対応は、マニュアルどおりにはいかない場合もあるので、スムーズに対応できるよう見直していく必要があります。
	5 教職員の資質の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研究の他、「全担任一授業公開」を実施し、互いに見合い、学び合うことで先生方の資質向上が図られていることは、教職員自己評価にも反映されています。 ・ 職員にも大きな変化があり、今後の指導

			<p>にも期待します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生同士が課題に向かって共通理解の上で指導力向上に積極的に取り組んでいる様子がみえます。 校外研修にも積極的に参加していただき実践に結び付けてください。
	6 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> 教師による画一的な教育ではなく、児童一人ひとりの持っている力を大切にし、お互いに認め学び合う共同的な学びの推進は大変すばらしい取組だと思えます。それを全学年・全クラスで実施されており、子どもたちが自主的に学び教え合う姿が見られます。 学校支援地域事業の有効活用が図られています。 地域のサポーター活動が盛んであり、地域の方々の協力を活かしながら良い交流が行われています。
教育課程	1 確かな学力	B	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く学習に取り組む子どもが育っています。 学力が右肩上がり伸びているとお聞きし、これまで重点的に取り組まれてきた学びの共同体の推進が実を結んだ結果だと思えます。校長先生始め諸先生方の日頃のご尽力に感謝いたします。家庭学習の必要性も継続して呼びかけていただければと思えます。 数字の結果だけで判断するのではなく、指導の過程やクラスの体制等、様々なリスクがあります。子どもたちが学ぶ楽しさを知ることで学力もアップしています。個別指導の難しさも出てきますが、学習環境作りも大切だと思えます。 個別指導の工夫が課題だと思えます。 家庭学習の習慣化を図るには、家庭学習のしおりをどのように有効活用するかが課題だと思えます。
	2 豊かな心身	A	<ul style="list-style-type: none"> 学び合いの成果は学力だけでなく、相手の話をよく聞き、お互いを認め合う関係が見られているとのことで、心の成長にも繋がっていると感じています。 「人の話を聞ける子」へ育て上げるには、時間もかかりますが、心の成長には欠かせないものです。少しずつ成果に結び付いているのが実感されました。

			<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの豊かな心を育む道德教育の充実に教職員全員が努めています。 「日吉台スタンダード」を子どもたちにより徹底させることが必要です。
	3 特別活動	A	<ul style="list-style-type: none"> 自主的な活動ができる配慮が工夫され、主体的に活動している姿がみられます。 朝の活動や学級活動、児童集会等で、子ども同士の関わりを積極的に作り出しています。 縦割り活動や交流活動が盛んに行われており、今年度は学校行事として日吉っ子まつりが開催され学年やクラスを超えて生き生きと活動に取り組む姿がみられました。またその様子を捉えた写真を、校長先生が即座に印刷し掲示していただいたことで保護者や来校者にも伝わっていました。
	4 生徒指導・教育相談	A	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーを活用しながら子どもの心理的な変化や不登校につながる行動などを見逃がさず、迅速に対応いただいております。 安心して相談できる環境であり、今後も組織として対応できるようお願いします。職員の個人負担にならないようにしてください。 保護者と連携を強化し、教育相談の充実を図っています。 休み時間や給食時間を利用して児童とのふれ合いに努めています。 いじめ根絶に努めています。
	5 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域のスクールボランティアの活用の他保護者へもボランティアを呼びかけていることで参加者が増えており、教育活動への地域や保護者の理解が深まることを期待しています。 「感謝の会」における地域の人々との交流がすばらしいと思います。 地域との連携もよく、世代間交流も深まっており、良い関係性ができています。
課題教育	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> 全校での屋清掃の実施や整理整頓が行き届いており、子どもたちは気持ち良く学校生活を送ることができています。 教室内、廊下がきれいに清掃されています。

			<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル活動，省エネ対策について積極的に取り組んでください。
	2 特別支援教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる力の育成と自立への基礎作りの指導に工夫が凝らされています。 ・発達障がいや難聴児への対応が的確になされており，個々の困り感に関係機関と連携しながら取り組まれています。 ・特別に配慮する児童に合った個別指導は保護者と共通理解しながら計画を立て，進めていくことが大切だと思います。
	3 図書館教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・読書タイムが新設され，本を読むきっかけを学校で作っていただいているので，さらに家庭でも取り組めるような働きかけをお願いします。 ・児童一人当たりの貸し出し冊数が富谷市内小学校8校の中で一番高く，読書週間が定着しつつあります。 ・熱心に活字と向き合う姿勢が感じられました。
	4 健康教育	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ルルブルの大切さを継続的に呼びかけているが保護者の実現度が低いため，家庭を巻き込んだ啓発活動を保護者と共に行っていただきたいと思います。 ・学校活動，保健便りを通して「早ね 早起き 朝ご飯」について保護者へ呼びかけ望ましい生活習慣の指導を徹底させてほしいです。 ・学校まかせにならないよう家庭内での協力も必要です。保護者にも十分な理解をしていただき，健康管理に配慮してほしいです。
	5 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ひよっこの学び合い活動を通し，学級集団作りを実践していてすばらしいです。 ・TTの活用や少人数指導や教科担任制による授業への取組を実施しており，高学年に起こりがちな学力の開きや理解力不足などの個々への対応もしっかりなされています。 ・今後も子どもたち同士の結びつきを強くして，自主的に活動させてほしいです。 ・市内外の幼稚園や小・中学校との情報交換や授業公開を行うことで職員の資質向上

			がなされています。
地域との連携について	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童は地域の一員としての自覚や周囲に役立っている実感を高めるために、地域と連携した活動を継続して、学習活動に少しでも活かしてほしいです。 ・ 地域が持っている教育力をさらに活用いただけるよう、共に取り組んでいただきたいと思います。 ・ 世代間をつなぐネットワークの形成は今後も必要です。地域で子どもを育てる教育の推進は社会づくりにも大きく貢献されています。 	
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめによる自殺や親子心中、虐待による死亡など、尊い命が失われる悲しいニュースが流れています。日々の生活の中での変化を早く見つけられるよう、子どもたちとのコミュニケーションを図り、情報収集に努めてください。 			